

# 富山県高P連会報

第 125 号  
2021.9

編集発行

富山県高等学校PTA連合会  
発行人 会長 堀井 鉄也  
富山市千歳町1-5-1  
富山県教育記念館41号  
TEL 076(432)2810  
FAX 076(432)1501



ご挨拶

富山県高等学校PTA連合会 会長 堀井 鉄也

昨年度に引き続き、今年度も会長を務めることになりました富山中部高校PTA会長の堀井鉄也です。また6月の全国高P連総会で、全国理事・北信越地区会長も拝命しました。本連合会の円滑な運営に努めたいと考えておりますので、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

さて、本年7月9日から10日にかけて富山県民会館で開催する予定であった北信越地区高P連研究大会富山大会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、北信越各県役員と協議の上、誌上開催といたしました。本来であれば、県内会員の皆さまの協力を得て、各PTAがお互いに学び、交流し、語り合う格好の機会となるはずでしたが、とても残念でなりません。また、島根県で8月に開催の全国高P連大会は、オンライン開催となり、全体会や分科会がアーカイ

ブ配信されております。ぜひ視聴いただきたいと思います。来年は石川県金沢市で、全国高P連大会が開催されます。北信越地区での開催ということもあり、多くの皆さんの参加と協力をお願いいたします。

現在、新たな変異株(デルタ株)の感染者が増加し、全国的にほぼ置き換わったと考えられています。感染力の強い変異株の拡大により、屋外飲食のような3密でない状況でもクラスターが発生している事案なども確認されています。県内においても8月20日から富山市が、まん延防止法等重点措置区域とされました。県立学校では、生徒が広範囲から公共交通機関を利用して通学していることなどから、夏季休業期間が9月12日まで延長され、2学期の始業日が9月13日となりました。この間、感染防止の徹底と学びの保障という

観点から、分散登校やオンライン学習などが行われています。今後感染状況が落ち着き、通常通りの学校活動が再開されるよう願っておりますが、学びのあり方が変化している中、私たち保護者は子どもとの話し合いを通じて課題を明確にし、その解決が図られるよう、学校と連携して対処していくことが重要と考えています。

来年度から高校では、年次進行で新しい教育課程が実施されることとなり、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱を軸として準備が進められています。また成年年齢を20歳から18歳に引き下げることと内容を改正民法が施行されます。子どもたち一人一人が、自らの生き方を考え主体的に行動することが求められています。そのためにも、高P連の役割は重要であり、コロナ禍で活動が大きく制約されている中ではありますが、皆さんとともに「新しい生活様式」を念頭におきつつ、今後の教育について考えていきたいと思っております。

最後に、未だ収束の見えない新型コロナウイルス感染症により、窮屈な日々ですが、平穏な日常が一日も早く戻ることを祈っております。

## 令和3年度定期総会開催

今年度の定期総会も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面審議となりました。その結果、すべての議案が可決され、新役員が次の通り選出されました。

### 顧問

深松 茂

### 会長

堀井鉄也(富中)

### 副会長

松倉良知(魚津) 小林大助(富山)

中村総一郎(高岡) 今井 宏(砺波)

本江孝一(富中)

### 会計監査

光田孝史(富工) 早助 昭(石動)

### P側理事

渡辺誠治(入善) 古川和幸(桜井)

沢谷由二(滑川) 倉川智也(富商)

勝原幹裕(富東) 若林伸佳(小杉)

山口洋祐(高商) 本田 敏(福野)

山田清志(砺工)

### T側理事

田中宏育(魚津) 亀谷卓朗(滑川)

中崎健志(富山) 東瀬義人(富商)

君波敦子(いずみ) 申田至人(高岡)

篠原俊一郎(高工) 高橋宏幸(高商)

今堀俊彦(砺波) 番留幸雄(福野)

関口敏也(雄峰)

### 幹事

角井勇人(魚工) 増岡友策(雄山)

杉山紀子(富山) 小橋壯吉(富工)

川端剛至(水橋) 山崎達也(大門)

吉國陽子(福岡) 広瀬正宜(志賀野)

大野宏樹(砺波) 野崎 悟(石動)

今村 弥(雄峰)

# 共学共育

## 呉羽高校PTA

### 「本校のPTA活動について」

「心豊かに 道を究む」を校訓とし、県下でも珍しい男女混声4部合唱の校歌を持つ、それが本校、富山県立呉羽高等学校です。

昭和58年4月に開校し、来年度には創立40周年を迎える、音楽コースを併設する普通科進学校です。あの風とやま鉄道呉羽駅より徒歩5分、呉羽丘陵に抱かれ、富山市舞台芸術パークが隣接する、自然環境にも芸術環境にも恵まれた立地にあります。本校PTAは、会長1名、各学年副会長3〜4名、監査1名、そして三陸（広報誌）編集委員会、芸術祭実行委員会、生徒生活指導委員会に属する各学年12名の役員で、合計51名で構成されております。

本校のPTA活動の目玉となるのが、毎年9月中旬に開催される「呉高芸術祭」での模擬店（飲食ブース）への参加協力です。学園祭は基本、生徒主体の企画・運営でありますが、飲食ブースに関しては、企画段階で生徒とPTA役員とで話し合いを行います。目玉となるメニュー等を決定します。そして当日は、PTA役員が調理、3年生が販売という形式をとり、学園祭の盛り上げに一役も二役も買っておりま。子どもたちの成長を間近に感じることができいい

機会ではあるのですが、昨年、今年とコロナ禍の影響で規模も縮小され、PTA役員の参加も無しとなっております。

また、コロナ禍にあっても禍前より継続して行っている活動もありま。その一つが「さわやか運動」と称した挨拶運動です。年2〜3日の実施ではあります。朝の登校時に、生徒、教職員、そしてPTA役員が校門付近に並び、登校してくる生徒に元氣よく（これ大事！）、爽快に（これも大事！）挨拶しております。

もう一つが「学校保健委員会」です。これは、生徒、教職員、PTA役員が一つのテーマをもとに話し合いを行うというもので、現在の高校生の考えや思いを知りたい機会になっております。本校のPTA活動は生徒との共同のものが多いこともあり、その活動においては楽しみながら、活動を通して我々大人の学ぶ姿、成長する姿を子ども達に見せ（魅せ）られるよう努めております。



さわやか運動



学校保健委員会

呉羽高校PTA会長

坪井 武夫

## 新湊高校PTA

### 「PTAの組織と活動」

本校PTAは、昭和23年、本校が新制高校として発足すると同時に結成されました。PTAの組織は、会長（1名）、副会長（各学年2〜3名）、監査（2名）、各種委員会（総務、生活進路、文化厚生）の委員長と副委員長（6名）、各学年委員長と副委員長（6名）、そして各学年委員（5〜7名）の合計40名前後の人員で構成されております。

昨年度、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動はかなり制限されていますが、通常であれば次の活動及び事業を実施しております。PTA総会、各学年懇談会、各学年PTA研修会、PTA講演会、年2回のPTAだよりの発行等です。各種学校行事においては参観するだけではなく、参加・協力を積極的に行っております。6月のさわやか運動では、生徒玄関や通学路での挨拶運動や交通マナー指導に協力しております。3年に一度行われる学校祭（新高祭）では、模擬店の出店を行っております。オーストラリアの姉妹校訪問には、ホストファミリーとして協力しております。3年前は10名の生徒のホームステイを受



姉妹校訪問回ホームステイ受入れ

け入れました。また、本校伝統の秋のマラソン大会では、PTA役員がコース警備に参加し、各チェックポイントでコースの安全確保を図るとともに、頑張る子どもたちに応援の声かけを行っています。

一方、新しい取り組みとして、キャリアガイダンス（職業講話）への協力を行っております。キャリアガイダンスは学年毎に行われております。そのうち1年生では「働くとは何か」というテーマで、幅広く人としての生き方をえるものであります。これまでは学校側がすべて講師を選んでいましたが、保護者からの発案で、PTAのネットワークを生かして卒業生の保護者や本校OBなどから講師を選定しております。子どもたちの将来に向けた生き方教育に協力したいという熱心な親たちの希望から実現に至ったものです。



キャリアガイダンス

今年度の活動におきましても、新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、思うような活動が出来ないと想定されます。そんな中でも、子どもたちの健やかな成長をサポートする事を第一に考え、地域、学校、保護者と、より良い環境作りに取り組んでまいります。

新湊高校PTA会長

長田 定克

### 南砺福野高校PTA

#### 「本校のPTA活動について」

本校は、今年度創立百二十七年を迎える歴史と伝統のある学校です。本校のPTAは、総務委員会、生徒生活指導委員会、厚生部活動委員会、学級委員会の四つの委員会構成されています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で様々な活動に制限がりましたが、本校の取り組みを紹介いたします。

総務委員会では、PTA会報を作成するために編集委員会を開いています。昨年度は、例年とは大きく異なり休校からスタートしました。今までに経験したことのない、コロナ禍において家庭での過ごし方、授業や部活動、友人への思い、将来についてどのように考えているかについて生徒にアンケートを作成し、調査しました。そして、そのアンケート結果を見ながら総務委員会のメンバーで座談会を行いました。意見交換の中で子どもの家庭での過ごし方について共通認識を持つことができました。また、「将来は地元で就職したい」という思いの生徒が多いたることが分かり、嬉しく感じたと同時に、地元の良さをもっとアピールしていくことが大切だと思いました。



総務委員会(座談会の様子)

生徒生活指導委員会では、地域の祭りの巡視、朝の交通指導を行っています。昨年度は祭礼行事がなかったため、朝の交通指導のみ実施しました。生徒達は保護者にも元氣よく

挨拶をしてくれ、とても頼もしく感じました。

厚生部活動委員会で、毎年秋に保護者の方を対象にPTA研修会を開催しています。

昨年度は、りばていOne代表で臨床心理士の坂本美奈子氏に「アドラー心理学から学ぶ親のあり方」と題して講演していただきました。坂本先生から勇気づけられる言葉、たくさんいただき、子どもが自立できるように、口出しし過ぎず、「勇気づける」言葉をたくさんかけていこうと思いました。



PTA研修会



さわやか運動

学級委員会で、各学年の進路懇談会時の会場準備、受付、駐車場誘導、司会、記録などの仕事を分担して行っています。学校側の丁寧な説明のお陰で、進学・就職への理解が深まりました。

他にも例年多くの参加があるPTA大学視察研修も中止となりました。今年度は、秋に予定しておりますが、感染状況を見ながら実施の有無を検討していきたいと思っています。

今後も生徒一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるよう、先生方と保護者、保護者同士の連携を密にしていきたいと思っています。コロナ禍で活動に制限がありますが、工夫をして、よりよい活動をしていきたいです。

南砺福野高校PTA会長

本田 敏

## 地区指導者研修会報告

### 新川地区指導者研修会

誌上開催

発表テーマと発表校

- ・「進路指導とPTA」  
魚津高校 松倉良知会長
- ・「保護者対象アンケートからの考察」  
親子間で話す機会が増えることを願って、  
桜井高校 古川和幸会長
- ・「生徒指導とPTA」  
生徒指導を支えるPTAの役割、  
雄山高校 成田 聡会長

### 富山地区指導者研修会

開催日 6月30日(水)

会場 富山いずみ高校  
発表テーマと発表校

- ・「高校におけるPTA活動」  
親も共に学ぶ、  
中央農業高校 三浦美緒会長
- ・「本校の教育活動とPTA」  
富山高校 小林大助会長
- ・「本校のPTA活動」  
コロナ時代に求められる活動を考える、  
富山中部高校 堀井鉄也会長
- ・「富山東高校PTA活動」  
富山東高校 勝原幹裕会長

### 高岡地区指導者研修会

開催日 6月16日(水)

会場 ウイング・ウイング高岡

発表テーマと発表校

- ・「高校教育とPTA」  
本校の取り組みより、  
福岡高校 般若泰樹会長
- ・「進路指導とPTA活動」  
本校の教育と特色あるPTA活動、  
小杉高校 若林伸佳会長
- ・「家庭教育とPTA」  
本校の取り組みから、  
高岡商業高校 山口洋祐会長

講演

「国指定史跡・高岡城跡の魅力」

高岡市立博物館

副主幹 学芸員

仁ヶ竹 亮介 氏

### 砺波地区指導者研修会

開催日 6月22日(火)

会場 南砺福野高校

発表テーマと発表校

- ・「これからの時代に求められる学びとPTA活動」  
砺波高校 今井 宏会長
- ・「PTA親子ボランティア活動」  
地域に学び、社会に力を、  
南砺福光高校 森 貴志会長

講演

「全ての経験を力に」

お笑いコンビ 雷鳥



今年度の北信越高P連大会は、富山県民会館で開催する予定で昨年度から準備を進めてきましたが、北信越地区高P連役員会で協議の結果、コロナ禍により誌上開催とし、大会冊子を発行いたしました。冊子には、北信越各県4校計20校の発表と記念講演予定であった株式会社熊谷組社友大田弘さんの「ククロヨンが遺したもの」―志の連鎖―」を掲載し、加盟校に配付しました。

本県の発表は、次のとおりです。寄稿していただいたPTA会長各位には、紙面を借りて御礼申し上げます。

・「これからの時代に求められる学びとPTA活動」  
砺波高校PTA会長 今井 宏 氏



第70回全国高P連島根大会は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、令和2年度実施から令和3年度に延期となりましたが、今年度に入っても感染状況の収束が見られないことから、全国大会開催史上初めてオンラインでの開催となりました。

8月25日に全体会（開会式、表彰式、記念講演、記念公演、閉会式）がオンラインライブ配信されました。また、6つの分科会はアーカイブ配信されています。分科会の概要は次のとおりです。

大会メインテーマ

「ご縁づくり」

サブテーマ

「新たな明日への礎のために」

第1分科会

テーマ

「Withコロナにおける学校教育の形とこれからの学びのデザイン」

「予測不可能な未来を生き抜くには」

第2分科会

テーマ

「正しく怖がる」で創るネットとご縁

「SNS・スマホで絶対に失敗しない方法とは」

第3分科会

テーマ

「地域で育む未来への学び」  
「教育の魅力化でひろがる新たなご縁」

第4分科会

テーマ

体験でつなぐ人々のご縁  
「人生100年時代」「不確かな時代」を生きるためのキャリアデザイン」

第5分科会

テーマ

グローバルにつながる教育とご縁  
「SDGs(持続可能な開発目標)と新たな明日への礎のために」

第6分科会

テーマ

未来社会に対応するための教育とご縁  
「主体的・対話的で深い学び」  
「学校と社会の連携・協働」のあり方」

また、アトラクションに、松江商業高校吹奏楽部、浜田商業高校郷土芸能部、江津高校神楽愛好会、三刀屋高校演劇部、出雲農林高校出雲太鼓部の高校生が出演しています。

全体会や分科会、アトラクションは、12月31日まで配信されており、会員の皆さまは視聴可能となっておりますので、どうぞご覧いただき、様々な活動の参考にしてください。視聴方法は、第70回全国高P連大会島根大会のHPをご覧ください。



本年度の優良PTA文部科学大臣表彰、全国高P連大会会長表彰、北信越地区高P連表彰が次の皆さま、団体に決定し、表彰されました。おめでとうございます。

優良PTA文部科学大臣表彰

団体 小矢部園芸高校PTA

全国高P連大会会長表彰

団体 桜井高校PTA

個人 小峰正文(前高P連副会長)

北信越地区高P連表彰

小峰正文(前高P連副会長)

菅野克志(前高P連副会長)

開田哲弘(前高P連副会長)

奥野康宏(前高P連理事、元会計監査)

吉田明博(前高P連会計監査)

編集後記

ここに、会報第125号を発行する運びとなりました。寄稿していただいたPTA会長各位に厚く御礼申し上げます。

今年もコロナ禍で多くの高P連行事が中止となり、申し訳なく思っています。

全国高P連大会島根大会の全体会・分科会を視聴しました。高校生のアトラクションは見応えがあり、分科会の基調講演はわかりやすく、ディスカッションも思いが伝わってきました。今後はこのような映像配信の増加が想定されますが、これまでのような大会がもはや懐かしく感じます。

(事務局長 神田 聡)

・「親子の会話が  
増えることを願って」  
保護者アンケート  
からの考察」  
桜井高校PTA会長 古川和幸 氏

・「本校のPTA活動」  
「コロナ時代に求められる活動を考える」  
富山中部高校PTA会長 堀井鉄也 氏

・「国際理解教育とPTA活動」  
伏木高校PTA会長 九沢謙一 氏